

## 【発表概要】

### ちば千産技術（4技術）

題 名	概 要	発 表 者
ちば千産技術①【R02C-1-1】 高輝度蓄光製品 「アベイラス アルシオールシリーズ」	自然光や照明光を吸収し、夜間、暗所で自発光する高輝度蓄光製品。本技術の活用により、震災など夜間の停電時でも夜間の屋外や暗所での案内及び避難誘導標示、階段段差等危険箇所の視認性が良くなり安全性が向上する。	(株)ドパール (君津市)
ちば千産技術②【R02C-1-2】 高硬度防滑床製品 「アベイラス アンブロップシリーズ」	アベイラス アンブロップは、極めて優れた防滑機能が歩行者の安全確保と、滑りによる転倒事故を未然に防ぎ、施主や施設管理者の損害賠償リスクを大幅に軽減する防滑床材。極めて耐久性が高く、駅などの重歩行箇所においても長期間に渡り防滑性能を維持する。	(株)ドパール (君津市)
ちば千産技術③【R02C-1-3】 減勢効果のあるらせん状水路と維持管理を容易にする 昇降階段を一体化した組立マンホール 「落差マンホール」	落差マンホールは、水流をらせん状に回転落下させるため、高落差を鉛直落下させる場合と比較して水流の減勢及び安定化が期待できる。また、らせん状水路と管理用階段を一体化したプレキャスト部材により、省スペース化と工期短縮が可能である。	ゼニス羽田(株) (千葉市)
ちば千産技術④【R02C-1-4】 紫外線硬化型FRPシート 「e-シート」	紫外線硬化型FRPシートによる鋼構造物の鋼板部補修工法で、従来は鉄板溶接による補修で対応していた。本技術の活用により、高い防錆性を有するFRPを補修材料として使用することで、溶接作業が不要となるため、コストの縮減、品質の向上、工期の短縮が図れる。	サンコーテクノ(株) (流山市)

## 新技術（5技術）

題 名	概 要	発 表 者
<p>新技術①【R02S-2-1】 海岸砂地における再利用有機物を活用した 植生基盤埋設工法 「在来植物による飛砂防止緑化工法はまみ どりマット」</p>	<p>本技術は、飛砂発生源となる海浜等砂地において、植物の生育促進を図り飛砂の発生を抑制する技術である。有機質資材を内包したマットを埋設することで、砂浜の生育環境が改善され、埋土種子や地下茎等から緑化する。地域の植物による緑化であるため自然公園等への導入も適する。従来は「静砂垣+砂草苗植栽工」で植生導入が行われていたが、同時期の施工で従来技術の植被率が60%であるのに対し、本技術は100%と優れ、飛砂防止効果の向上が期待できる。本技術は施工方法が単純であり、従来技術に比べ施工性が向上する。</p>	<p>グリーン産業(株)</p>
<p>新技術②【R02S-2-2】 超耐久高純度シリコン工法 「ガードペイント」</p>	<p>ガードペイントは石油由来（有機）防食塗料と全く異質で環境無害の無機100%シリコン塗料である。潮風が厳しい千倉海岸の魚貝畜養場でガードペイント塗装後40年以上、露天で健全塗膜を維持している事実を基に工法成案しNETIS登録した。紫外線を全く寄せ付けず、高温、低温、塩害、薬品に強い。さびが残存しても不活化するため3種ケレンで十分で、Rc-1塗装系に比ベニシャルで1割、LCCで3割、コストを削減できる。単一塗料使用のため工期、施工、塗料保管等が簡略。外気温5℃以下でも施工可能。構造が複雑な橋梁桁端の重防食補修やスプレー塗料落書き対策に有効。既存塗装面、鉄、ステンレス、コンクリート等、殆どの対象に施工可能。コンクリートには専用プライマー設計が必要。鉄と木材が違うように、無機のため塩水噴霧試験無用。</p>	<p>日東通商(株)</p>
<p>新技術③【R02S-2-3】 剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 「ケルピンα2.5」</p>	<p>鋼構造物の保守は通常、塗替工事による維持管理が行われていますが、度重なる塗替補修により旧塗膜は膜厚過剰となり、塗膜に溜まった応力によって、割れや剥離発生のリスクが高まります。このような課題を解決する為、複数社による共同研究により、塗膜の「線膨張係数」に着目した剥離要因と新技術を見出し、その新技術と防食塗料の設計技術を組み合わせることで、脆弱な旧塗膜の剥離を抑制できる新型の弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（大日本塗料製品名：ケルピンα 2.5）を開発しました。当該塗料を塗替補修時に用いることで、旧塗膜の剥離を抑制、また塗り重ねて厚膜にするほど剥離リスクを低減できる為、鋼構造物の更なる長寿命化、および剥離剤やプラスト処理などによる旧塗膜除去・処分にかかる費用を抑制することで、ライフサイクルコスト（LCC）低減が期待できます。</p>	<p>大日本塗料株式会社</p>
<p>新技術④【R02S-2-4】 塗布形素地調整軽減剤 「サビシャット」</p>	<p>一般的に、塗膜寿命に影響を及ぼす要因の約50%が素地調整の出来不出来と言われております。しかしながら、部材が複雑な場合や、被塗面が凹凸の激しい形状である場合、施工環境上、粉塵、騒音、火花を出せない場合などは、素地調整作業が不十分になりやすく、結果、さびが残存したまま塗装→早期発錆につながるケースも多々あります。このように、鋼構造物の構造および設置環境上、十分な素地調整が実施できない条件において、従来の物理的な素地調整法に代わる新提案として開発いたしました。サビシャットはいわば「塗る素地調整」であり、粉塵・騒音や産廃の軽減、重労働の大幅軽減、工期・工程短縮による時間的コストの低減、4種ケレン程度の物理的素地調整でも高レベルな下地作りが見込める、次世代の素地調整法です。【NETIS平成27年度推奨技術選定品】</p>	<p>大日本塗料株式会社</p>
<p>新技術⑤【R02S-2-5】 高性能鋳鉄製グレーチング 「GRシリーズ縦断用」</p>	<p>道路構造物に対する安全性能の要求に対応する為、高性能鋳鉄製グレーチングを開発～導入。縦断用鋳鉄製グレーチングとして、特徴の違う3タイプを用意して現場に即した製品選定ができる。 安全性能としては強靱な材質と蓋のガタツキ防止構造により、騒音を抑制する事で周辺環境の改善に繋がる。また、鋳物特有の漆黒色により景観性向上にも繋がる。 施工性にも優れ既設の側溝本体を活用する事で、いち早い道路開放が可能となる。 【ハリエーションことの特徴】 ガタツキ対策型・・・ガタツキによる騒音/破損防止、車輪はまり込み防止/スリップ抑制 落葉対策型・・・落葉などによる道路冠水抑制/車輪はまりこみ防止/蓋の開閉容易 ハリアフリー対策型・・・ヒールはまり込み防止/スリップ防止/開口の目詰まり防止/蓋の開閉容易</p>	<p>日之出水道機器(株)</p>